



私の日本語の先生は、 日本の皆さん全員です。

熊本市の銀座通りにオープンした
インド料理の店の店長として
熊本に生まれ、熊本に住むようになった
ジャグモーハン・シンさん。
見事なほど流暢な日本語を話され、
馬刺しが大好きと
おっしゃるシンさんに、
熊本の印象や食べものことなど
お話ししていただきました。

しいものに、とても興味を持っている
ですね。熊本にワサモンという言葉があ
るのもわかるような気がします。
料理は本当の味を知ってほしいので、
インドの味をそのまま紹介しています。
辛さは0〜50倍まで、インドの人と同じ
ように、その人の好みにまかせています。
日本にはスイスやイタリア料理など外国
料理はいろいろあるけれど、日本人は何
十年も前からカレーを食べている。す

インドのニューデリー大学
で大学院まで社会学を学び、
その後、日本語なんて全くわ
からずに日本へ来ました。六年くら
い前になります。こうして日本語を話せ
るのは、日本の皆さんに少しずつ教えて
もらったおかげ。だから私の日本語の先
生は、日本の皆さん全員です。熊本には
半年前から、福岡のお店へ熊本からの
お客さんが多い。熊本は高速もできて便利。
街並みもきれいだし、これからどんどん

に日本家庭に入りこんでいるから、人気
があるのだと思います。特に熊本の人
方が福岡より辛口じゃないですか。辛子
れんこんなんて、正直いって私にはとて
も難しい。(笑)体がしびれてしまいます。
辛さが違いますよ。
熊本は思ったとおり良いところですね。
私のモットーは、「郷に入れば郷に従え。」
かなり満足して暮らしています。ただち
よつと困るのは、バスや電車、街なかに

活気のある
街になる。と
いうことで熊本にもお
店を、と思ったわけです。福岡へわざわざ
来てくださるお客さん。熊本の人には珍



英語標識がないことです。「読めない、書
けない」会話オンリーの、私のような外
国人は、ちょっととしたサインにとっても助
けられるのです。病院やガスの料金など
もタイムマガジンのようなものがあると、
便利でしょうね。熊本もこれから、外国
人にやさしい街になるといいですね。



ジャグモーハン・シン
1957年12月30日
ニューデリー生まれ。
30歳。

ਜਗਮੋਹਨ ਸਿੰਘ

